東北ＩＭ連携協議会（ＴＡＩＭ）第１９回総会

期日：令和７年７月 17 日（木）
場所：山形県長井市　タスパークホテル長井

次第

１．開会

２．挨拶　　東北ＩＭ連携協議会代表幹事　　庄司　孝一

３．議長選出

４．議事

１）第１号議案
・令和６年度事業報告について
・令和６年度収支決算報告について

２）第２号議案
・令和７年度事業計画（案）について

３）第３号議案
・規約改正について

４）第４号議案
・役職変更について

５）その他

５．その他

６．閉会

1）第１号議案

・令和６年度事業報告

① 東北ＩM連携協議会総会・ワークショップ in 奥州 （詳細は資料１）

期　　日 ： 令和 6 年 7 月 18 日（木） 総会、ワークショップ
19 日（金） 視察（東京ｴﾚｸﾄﾛﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱、他）

会　　場 ： 水沢グランドホテル

参加人数 ： 61 名　各県 IM、関係機関、企業等

・総会は全会一致で承認された。

② 東北ＩM連携協議会ワークショップ in しばた・TAIM Awards 2024 （詳細は資料２）

期　　日 ： 令和 6 年 10 月 24 日（木） 講演・事例紹介・ワークショップ・Award 表彰
25 日（金） 視察（カフェ＆コワーキング Kitai、船岡地区見学）

会　　場 ： 仙南地域職業訓練センター

参加人数 ： 41 名　各県 IM、関係機関、企業等

・「TAIM Awards 2024」表彰式

ベストインキュベーション・マネジャー賞：トータルサポートリード学舎 代表 阿部　浩美　氏

ベストビジネスインキュベーター賞（一社）：一般社団法人産業サポート白河

③ 各県 IM スキルアップ研修への協力

・北東北スキルアップ研修（詳細は資料３）

研 修 名 ： 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和 6 年度総会・第 1 回スキルアップ研修会

期日場所 ： 令和 6 年 7 月 5 日（金）新町キューブ 3 階会議室

参加者数 ： 40 名

内　　容 ： 総会
県内創業支援の取り組み（青森県地域産業課）
創業支援施策等について（東北経済産業局）
事業・取組紹介（あおもり創生パートナーズ㈱）
令和 6 年度 IM 養成研修受講者紹介
情報提供交換等

研 修 名 ： 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和 6 年度第 2 回スキルアップ研修会

期日場所 ： 令和 7 年 1 月 31 日（金） 新町キューブ 3 階会議室

参加者数 ： 26 名

内　　容 ： 県内創業支援実績について（青森県企業立地・創出課）
創業支援の取組及び実績等について（青森県信用保証協会）
令和 6 年度 IM 養成研修受講者紹介

講演・グループディスカッション
①講演「もし、まちの地域おこし協力隊が 100 人になったら…
～制度をフル活用した創業・移住・関係人口施策のススメ」
②グループディスカッション
「地域おこし協力隊制度を活用した地域イノベーション創発
について」

・南三県合同研修会（明細は資料４）
研 修 名 ： 2024 年度南三県合同研修会・及びみやぎ IM 連携協議会第３回地域交流会
期日場所 ： 令和 7 年 2 月 7 日（金）YUI NOS
参加者数 ： 21 名
内 容 ： 関係機関との連携事例
創業事例のワークショップ

④ ＪＢＩＡシンポジウム 2024
期 日 ： 令和 6 年 11 月 8 日（金）
会 場 ： 東京都港区 機械振興会館地下 3 階 研修室
参加者数 ： 45 名
参加内容 ： IM 養成研修のエコシステム
・秋田県鈴木 Senior-IM 事例発表

⑤ 第 19 回ビジネスマッチ東北 2024
期 日 ： 令和 6 年 11 月 14 日（木）
会 場 ： 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ
参加内容 ： マッチング協力

⑥ 幹事会
「第 32 回東北ＩM連携協議会幹事会」
期 日 ： 令和 6 年 5 月 21 日（火）15：00～
場 所 ： INTILAQ 東北イノベーションセンター会議室
協議事項 ： １）東北ＩM連携協議会事業について
・R6 ワークショップ計画（岩手・宮城）について
・R6 青森県、南三県スキルアップ研修計画について
・改選期に係る役員人事について
・他
２）情報提供
・東北経済産業局様より情報提供
３）その他

「第 33 回東北ＩＭ連携協議会幹事会」

期　　日　：　令和 7 年 2 月 18 日（火）14：00～

場　　所　：　（独）中小企業基盤整備機構東北本部　セミナー室

協議事項　：　１）東北ＩＭ連携協議会事業について

・R6 ワークショップ（in 奥州・in しばた）開催報告

・R6 青森県、南三県スキルアップ研修開催報告

・R7 ワークショップ計画（宮城・岩手）について

・R7 青森県、南三県スキルアップ研修計画について

・規約改正について

２）情報提供

・東北経済産業局様より情報提供

３）その他

⑦　ホームページとメーリングの運営

東北ＩＭ連携協議会ホームページ運用　：　http://www.taim.jp/

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

登録数：140 アドレス

メーリングリストの運用：　会員　taim05@taim.jp

役員　touhoku-im@taim.jp

資料１

東北ＩM連携協議会ワークショップ in 奥州実施報告

期日：令和 6 年 7 月 18 日（木）～19 日（金）
場所：岩手県奥州市　水沢グランドホテル　及び　市内企業等
主催：東北ＩM連携協議会
共催：東北経済産業局、（一社）JBIA（日本ビジネス・インキュベーション協会)、奥州市、
　　（一社）ビジネスサポート花巻
後援：（一財）日本立地センター、県南広域振興局、（公財）いわて産業振興センター、
　　奥州商工会議所、前沢商工会、
参加者数：61 名

■７月１８日（木）
【第一部】東北 IM 連携協議会総会
【第二部】東北 IM 連携協議会ワークショップ in 奥州
協議会関係者、自治体、支援機関、大学、企業等
開会　主催者・共催者挨拶
東北ＩM連携協議会代表幹事　庄司孝一、東北経済産業局産業技術革新課　照沼和孝様
奥州市長　倉成淳　様
講演１「日本型ＢＩ／ＩMの進展と次展開」
（一社）JBIA（日本ビジネス・インキュベーション協会）会長　星野敏　氏
講演２　「奥州市の産業振興について」
奥州市 商工観光部 企業振興課　「奥州市の産業振興について」
産業支援コーディネーター 菊池浩典 氏　「奥州市の支援事例について」
情報提供　東北経済産業局様
事例紹介①「地元資源を活用したパン屋をめざして」夢楽のパン工房 Yadoriki 代表 佐藤幸治 氏
事例紹介②「奥州湖から魅力発信～地域活性化～求心力」THE　BLUE　SUP　代表　植田恵美 氏
ワークショップ（①②テーマを班分けにて実施し発表）　チーム発表（各５分程度×４）
【第三部】交流会
■７月１９日（金）
施設、工場見学等　国立天文台水沢、東京ｴﾚｸﾄﾛﾝﾃｸﾉﾛｼﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱、えさし藤原の郷
■所感
奥州市での産業支援員（IM）の配置開始から 10 年となり、東北各県 IM との更なる連携と JBIA 星野会長からも「日本型 BI/IM の進展と次展開」と題しての講演を踏まえ、各機関や IM 自身の次展開を考察した。また、東北経済産業局様と（一財）日本立地センター様から情報提供の後、奥州市産業支援 CD が支援した創業企業からの事例発表を受け参加者と地元 IM 及び支援機関職員とグループワークを実施した。
企業視察では事前訪問を行い、IMや地域支援機関関係者に有益な情報提供となるよう各部門長より発注関連や半導体製造装置の進展、今後の技術開発等について講話を頂いた。参加各位がワークショップ後の企業支援に有益な情報提供となったと思料する。
ワークショップ開催に係り、現地調整や当日のアテントなど奥州市役所様のご協力に感謝申し上げます。

資料２

「東北 IM 連携協議会ワークショップ in しばた・TAIM Awards 2024」事業報告

―実施概要―

日時：令和 6 年 10 月 24 日（木）13：30～17：15　　交流会：18：00～

25 日（金）9：00～13：30

会場：仙南地域職業訓練センター（宮城県柴田郡柴田町船岡字照内 1 番地の 9）

主催：東北ＩＭ 連携協議会

共催：（一社）JBIA(日本ビジネス・インキュベーション協会)、みやぎ IM 連携協議会

後援：柴田町、柴田町商工会、宮城県、（一財）日本立地センター、（独）中小企業基盤整備機構東北本部

協力：東北経済産業局

参加者数：41 名（TAIM 会員 27 名、東北経産局 2 名、宮城県 3 名、柴田町 3 名、ほか 6 名）

■10/24

「東北 IM 連携協議会ワークショップ in しばた・TAIM Awards 2024」

・主催者・共催者挨拶　東北 IM 連携協議会　代表幹事　庄司孝一

（独）中小企業基盤整備機構東北本部　企業支援部　支援推進課長　安藤健氏

・来賓挨拶、開催地紹介　柴田町長　滝口茂氏

・講演　日本ビジネス・インキュベーション協会　（一社）JBIA 代表理事 星野敏氏

・情報提供　経済産業省 東北経済産業局　地域経済部 産業技術革新課　渡部彩香氏

（株）日本政策金融公庫東北創業支援センター 千葉俊之氏

・「TAIM Awards 2024」表彰式

受賞者　個人：トータルサポートスクール リード学舎　阿部浩美 氏

団体：（一財）産業サポート白河

・事例紹介　しばたの未来(株)　取締役　平間 忠一氏

・ワークショップ　テーマ：民間企業の地域活性化「しばたの未来(株)の意義と経営基盤の確立について」

6 班編成（ファシリテーター伊藤理恵

各班リーダー：菊池浩典、斉藤方達、阿部浩美、上平好弘、新城榮一、千葉俊之）により実施

「マーケティング戦略の見直し」「新たなプロジェクトの開発」「パートナーシップの構築」等に向けた対策などについて意見交換及びグループ発表を行った。

・講評　日本ビジネス・インキュベーション協会　（一社）JBIA 代表理事 星野敏氏

・交流会　「ホテル原田ｉｎさくら」にて実施　24 名参加

■10/25　現地視察等

・カフェ＆コワーキング Kitai　施設見学　14 名参加

・船岡地区見学　Kitai においても案内員として地域の役割を担う「柴田フットパス」の一部コースを巡り地域の歴史や景観を体感し地域の観光資源を生かした産業振興について考える。

■所感

事例発表者しばたの未来(株)の存在意義や経営基盤の確立等の課題解決に対し意見交換や具体的な支援策について検討を深め参加者のスキルアップを図ると共に支援機関の立て直しについて参加者全体で考える繋がりに感謝する機会となった。開催地の会員内はもとより東北全域での支援者、支援機関、現地関係者との交流ネットワーク構築にも寄与することができた。

開催に際しご尽力いただきました関係者機関各位に厚く御礼申し上げます。

資料３

青森県インキュベーション・マネジャーネットワーク協議会

令和６年度事業報告

項　目	具体的内容
総　会	開催日：令和６年７月５日（金）１５：００～１５：２０ 場　所：新町キューブ３階会議室 参加者：３７名（IM、支援機関、青森県 等） 議　事：○令和５年度事業報告について ○令和６年度事業計画（案）について ○会長改選、その他
第１回スキルアップ研修会	開催日：令和６年７月５日（金）１５：２０～１７：００ 場　所：新町キューブ３階会議室 参加者：４０名（IM、支援機関、青森県 等） 内　容：○県の創業支援の取組について（県地域産業課） ○創業支援施策等について（東北経済産業局） ○事業・取組紹介（あおもり創生パートナーズ㈱） ○令和６年度 IM 養成研修受講者紹介 ○情報提供等
第２回スキルアップ研修会	開催日：令和７年１月３１日（金）１５：００～１７：００ 場　所：新町キューブ３階会議室 参加者：２６名（IM、支援機関、青森県 等） 内　容：○県の創業支援の取組について（県企業立地・創出課） ○創業支援の取組及び実績等について（青森県信用保証協会） ○令和６年度 IM 養成研修受講者紹介 ○講演・グループディスカッション ①講演「もし、まちの地域おこし協力隊が 100 人になったら… ～制度をフル活用した創業・移住・関係人口施策のススメ」 ②グループディスカッション 「地域おこし協力隊制度を活用した地域イノベーション創発について」

資料４

「南三県合同研修会」実施報告

題　　名　　２０２４南三県合同研修会・及びみやぎIM連携協議会第３回地域交流会

日　　時　　２０２５年２月７日（金）

場　　所　　YUI NOS（仙台市青葉区中央４−４−19）

主　　催　　山形県ＩM連携協議会、福島県インキュベート施設ネットワーク協議会、
みやぎＩM連携協議会、独立行政法人中小企業基盤整備機構東北本部、
東北ＩM連携協議会

内　　容　　開会・挨拶
みやぎＩM連携協議会　会長　斉藤方達

YUI NOSについて（仙台市のスタートアップ支援、YUI NOSの創業支援体制）
YUINOS　鈴木郁斗 氏
仙台市経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課拠点形成係
清野良太 氏
情報提供（令和７年度予算概要、スタートアップ支援）
東北経済産業局地域経済部産業技術革新課創業支援係
係長　　渡部彩香 氏
事例紹介（山形大学ミズアブプロジェクト事例によるチームビルド）
次長　　舟越博紀
グループディスカッション・発表

参 加 者　　２１名

効　　果　　チームビルドのノウハウが共有できたほか、グループワークの発表内容を
事例者に対し報告し、事業構成のアドバイスとして活かすことができた。

・令和 6 年度収支決算報告

東北ＩM連携協議会総会ワークショップ奥州　　収支決算　令和 6 年 7 月 6 日～7 日（単位：円）

収入の部					支出の部				
Ｎｏ	名目	単価	員数	金額	Ｎｏ	名目	単価	員数	金額
1	参加費（総会）	1,000	44	44,000	1	会場費		1	50,000
2	会場費補助			30,000	2				
3					3				
収入合計				74,000	支出合計				50,000
差引金額									24,000

・視察会使用バスについては、奥州市様から助成を受けております。

・会場費補助及び資料印刷費は、一般社団法人ビジネスサポート花巻様から助成を受けております。

東北ＩM連携協議会ワークショップ in しばた　　収支決算　令和 6 年 10 月 24 日～25 日（単位：円）

収入の部					支出の部				
Ｎｏ	名目	単価	員数	金額	Ｎｏ	名目	単価	員数	金額
1	参加費	1,000	32	32,000	1	会場費		1	8,140
2	会場費		1	8,140	2	資料印刷費		1	13,400
3									
収入合計				52,140	支出合計				33,540
差引金額									18,600

・会場使用料は、柴田町様から減免処置を頂き、みやぎ IM 連携協議会にご負担頂いております。

・会場送迎使用バスは、柴田町様から提供頂いております。

・横断幕は東北 IM 連携協議会より支出。

令和６年度東北ＩM連携協議会収支決算書　　（単位：円）

収入の部					支出の部				
Ｎｏ	名目	単価	員数	金額	Ｎｏ	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			47,547	1	HP 更新代		一式	17,930
2	WS 奥州会費			24,000	2	振込手数料		1	600
3	WS しばた会費			18,600	3	しばた横断幕		1	13,200
4	利息			17	4	賞状、楯代		一式	42,900
5					5				
6					6				
収入合計				90,164	支出合計				74,630
差引金額									15,534

差引金額合計　　15,534 円は、令和 7 年度への繰り越しとする。

監査報告

令和６年度東北ＩＭ連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和７年７月１４日

監　事　　佐　藤　利　雄

監　事　　平　川　善　子

2）第２号議案

・令和７年度事業計画（案）について

① ワークショップ開催事業

・東北ＩM連携協議会総会・ワークショップｉｎ長井　　（7 月 17 日～18 日開催）

・東北ＩM連携協議会 Award・ワークショップｉｎ弘前　　（10 月 9 日～10 日開催予定）

② 他機関との連携事業

・ビジネスマッチ東北 2025 への出展及びマッチング支援（令和 7 年 11 月 13 日）

③ 各県スキルアップ研修への協力

・青森県スキルアップ研修（年 2 回開催　第 1 回 7 月 8 日（青森市）、第 2 回 1～2 月（青森市予定）

・山形県福島県宮城県 3 県合同スキルアップ研修（8 月下旬予定）

④ わたしの起業応援団（経済産業省経済社会政策室）事業への参画と協力

・地域主催事業との連携や JBIA と連携して事業実施を行った「Start-up Attendant 養成研修」修了生との連携事業及び SA の輩出を図る。

⑤ ＩM関連情報の発信

・全国各地域ＩM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員へ情報発信を行う。

・メーリングリストによる情報発信

東北ＩM連携協議会（一般会員：140 名）

メーリングリストの概要

アドレス：taim05@taim.jp　　管理者：斉藤方達（石巻専修大学）

＊スパムメール混入が見受けられる対策としてアドレス変更を検討中。

東北ＩM連携協議会（役員用：21 名）

アドレス：touhoku-im@taim.jp　管理者：斉藤方達（石巻専修大学）

⑥ 事業計画立案や活動内容検討

・ＩM活動の成果指標構築検討

・会員の増強

⑦ その他協議会の目的に資する事業

・ＪＢＩＡ、東北経済産業局、中小企業基盤整備機構、日本立地センター等への事業協力

⑧ ワークショップ輪番について

山形（R7）⇒青森（R7）⇒秋田（R8）⇒福島（R8）⇒岩手（R9）⇒宮城（R9）

3）第３号議案

・規約改正について

東北 IM 連携協議会規約

第１章　総則

第１条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

第２条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

第３条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

1)情報発信及び情報共有

2)会員や関係機関のネットワーク形成

3)会員及び関係者のスキルアップ

4)その他、目的達成に資する活動

第２章　会員

第４条(種別)

本会の会員は、次のとおりをする。

1)正会員　：インキュベーション活動を実施する団体及び個人

2)賛助会員：インキュベーション活動に関係する団体及び個人

3)名誉会員：幹事会が承認した団体及び個人

第５条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

第３章　会議

第６条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

1)総会は、全会員で構成する。

2)総会は、年１回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。

3)幹事会は、代表幹事、事務局長、幹事、監査で構成する。

4)幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

第７条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

第４章　組織

第８条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

1)代表幹事及び事務局長(各１名)

2)幹事（若干名）

3)監査（若干名）

第９条(選出)

代表幹事及び事務局長、監査は総会において選出する。

幹事は、代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任する。

第 10 条（任期）

役員の任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

第 11 条（事務局）

事務局は、事務局長の下に行う。

~~連絡窓口を東北経済産業局に置く。~~（削除）

第 12 条（顧問・相談役）

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

1)顧問

2)相談役

附則

1. 総会において、出席者の 2/3 以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成 24 年７月６日より実施する。

本規約は令和７年７月 17 日より実施する。（一部改正）

４）第４号議案

・役職変更について

役職変更（案）

任期：令和６年４月１日～令和９年３月31日

役職	氏名	所属	備考
代表幹事	庄司　孝一	サステイナブルエネルギー開発（株）	
事務局長	斉藤　方達	石巻専修大学	新任
幹事	加藤　雅紹	（公財）２１あおもり産業総合支援センター	
幹事	上平　好弘	弘前大学　社会連携部	
幹事	柿崎　博美	（公財）あきた企業活性化センター	
幹事	鈴木　尚登	Be linked　　代表	
幹事	飯岡　辰弥	（公財）釜石・大槌地域産業育成センター	
幹事	佐藤　亮	（一社）ビジネスサポート花巻	
幹事	伊藤　理恵	㈱スリーデイズ	
幹事	松尾　伸一	（独）中小企業基盤整備機構東北本部	
幹事	舟越　博紀	（公財）やまがた産業支援機構	
幹事	新城　榮一	福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構	
幹事	相馬　由寛	福島駅西口インキュベーションルーム	
監事	佐藤　利雄	SBIM　　代表	
監事	平川　善子	能代商工会議所	

５．その他